

開講学期	後期	曜日・講時	月 3～4	時間割番号	0020803
科目分野	創成科学科目群・イノベーション科目[Innovation Science Courses・Innovation]				
科目名	大学教育と自身の学びを再考する[Reconsidering university education and one's own learning]				
ナンバリング	INN1170JLAS02				
担当教員	吉田 博 [Hiroshi Yoshida]				
単位数	2	対象学生・年次			

授業の目的

現在の日本は、ICT 技術を中心とした科学技術の進歩において生活が豊かになる一方で、少子高齢化、大規模自然災害、経済格差などの課題が山積し、数年先の予測が困難な社会であると言えます。また、世界規模の解決が困難な課題も次々に発生しており、これまで経済的に発展してきた日本は、関係諸外国と共に、これらの課題解決に挑む責務があるのではないのでしょうか。それゆえ、予測困難な課題に挑戦できる世代の我々は、大学で何を学び、何を考え、どのような行動を起こすのかを真剣に考えることが重要であると考えます。

そこで、現在の大学教育におけるさまざまな課題や、進められている大学教育改革の動向を理解し、問題点や進むべき方向性などを考えることで、学生のみなさん自身の学習への取り組み方を再考し、徳島大学においてどのように学生生活を送っていくべきかを真剣に考えるきっかけを掴みます。

「大学教育と自身の学びを再考する」の授業全体を通じて大切にしたい3つの理念は次の通りです。

■自分が本当にやりたいことを中心に学生生活をデザインすること

■自分の将来と日々の経験をつなげること

■自分のために大学のリソースを使うこと

また、この授業は、徳島大学の教養教育の3つの目標すべてと関連しています。

授業の概要

授業は、主に①事前の予習とその確認、②ディスカッション、③授業の振り返り、④挑戦課題・課外活動への参加の4つで構成されています。①事前の予習とその確認では、テーマごとに大学教育に関わる文献や論文を事前に学習し、授業中で行う議論に必要な基礎知識の確認を行います。②ディスカッションでは、現在の大学教育背景に関する問題点や意義について、受講者それぞれの考えを共有、議論します。③授業の振り返りは、授業終了後にラーニング・ポートフォリオ(LP)を用いて授業の振り返りを行い、授業の要点や学んだことなどの整理を行います。「学習経験」から「学び」を引き出すために、振り返りはとても大切であり、この授業ではこの活動を重視しています。④挑戦課題は、大学教育に関するテーマのプレゼンテーションや発展的な課題に取り組むことであり、課外活動への参加は、授業で指定した課外活動に参加し、報告を行うことです。

キーワード

大学教育改革、徳島大学の教育の現状、学生の主体的学習、学習の振り返り、経験から学ぶ

到達目標

1. 我が国の大学教育の現状(背景・課題)を述べることができる

2. 徳島大学の教育の現状(背景・課題)を述べることができる

3. 自身の大学生活を振り返ることができる

4. 自身の大学での学習に対する取り組み方を見直すことができる

5. 徳島大学においてどのように学生生活を送っていくべきかを考えるきっかけを掴むことができる

授業の計画

1. 授業ガイダンス(その1)、授業の進め方・成績評価の仕方、導入「大学ってどんなところ!？」

2. 授業ガイダンス(その2)、学習の振り返りの意義・予習の仕方・ディスカッションの練習

3. 世界から見た日本の教育・社会を知る

4. 大学の歴史と伝統を知る

5. 日本の大学教育とアメリカの大学教育の違いを知る

6. 大学4年間で身につけるべき能力を考える

7. 大学1年生に必要な教育を考える

8. 本当に必要な教養教育を考える

9. 日本の大学生の学習実態及びその問題点を考える

10. 学生が学べる・やる気になる授業を考える

11. EdTech は学生の学習を変えられるのかを考える

12. 大学図書館の役割について考える 13. 自身の学生生活を再考する(その1)・挑戦課題の報告 14. 自身の学生生活を再考する(その2)・挑戦課題の報告 15. この授業は意味があったのか 16. 総括授業 ※3回～12回の授業ではあらかじめ予習のための教材を配付、または指示します。事前に予習を行ったうえで授業に参加してください。	
教科書 なし	
参考書 なし	
教科書・参考書に関する補足情報 テーマごとに予習のための資料や論文等を manaba を通して事前に配付します。	
成績評価方法・基準 1. 授業の振り返り(ラーニングポートフォリオ):最大 55 点 (到達目標 1,2,3,4,5 が対応) 2. 予習・知識の確認:最大 20 点 (到達目標 1,2 が対応) 3. 授業中の発言・質問・意見:最大 10 点 (到達目標 1,2 が対応) 4. 自身の学び(学生生活)を再考:最大 10 点 (到達目標 3,4,5 が対応) 5. 挑戦的課題・課外活動への取り組み:最大 15 点 (到達目標 3,4,5 が対応) 5. その他のプラス α ポイント:最大 20 点 ※上記の各項目における合計点で評価する。ただし、上限を 100 点とする。	
再試験の有無 なし	
受講者へのメッセージ この授業では、「楽しく学ぶ」ことを一番大切にしています。そのために、さまざまな工夫を行いますし、受講生のみなさんからの意見も随時受け付けます。授業構成では、座学で大学教育を学び知識を記憶することより、学んだことを基にして、自身の考えを深め、発信することに重点を置いています。したがって、授業中は先生の話聞くことより学生さん自身が意見を述べる時間が多く、授業時間外では授業の振り返りや予習・調査などを行います。 この授業を担当する教員が本授業において受講者につけた評価(2022 年度前期までの累計)は、秀:12.9%、優:12.4%、良:20.1%、可:34.2%、不可:7.7%、評価しない:12.7%です。	
自学自習(予習・復習)のアドバイス 毎回予習のための資料とレジュメを配付します。それをもとに学習すれば大丈夫です。	
準備学修に必要な時間の目安等 大学の講義は、1単位を修得するにあたり、教員が行う授業時間に加え、学生が予習や復習などの授業時間外に学修する時間と合わせて、45時間の学修を必要とします。	
WEB ページ	なし
連絡先(E メールアドレス, オフィスアワー)	(学生用連絡先) 吉田 博, 常三島キャンパス教養教育6号館3階吉田研究室, Tel:088-656-9865, E-mail: hiroshi-yoshida@tokushima-u.ac.jp (メールアドレス) hiroshi-yoshida@tokushima-u.ac.jp (オフィスアワー) 月曜日 12:00～12:30 附属図書館本館にて実施している学習相談 SSS の担当時間帯(各自確認してください)
備考	第1回目の授業(授業ガイダンス)に参加してなくて、第2回目以降から受講を希望する者は、事前に吉田研究室に来て、授業の進め方等を聞いておくことを進めます。